

## 平成23年度全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門 大阪代表に本校生 7 名が決定

8月10日から15日まで大阪市立天王寺美術館で開催された第62回高校展において本校生徒14名が優秀賞を、63名が奨励賞を受賞しました。

さらに、受賞者の中から7名が、来年の夏に福島県で開催される全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門大阪代表に選ばれました。

本校生徒の作品は美術造形専門高校としての存在感を発揮しており、展示室で他校の先生からお褒めのことばをいただきました。

### 日本工芸会の作家が本校生を指導

8月26日(木)13時30分から本校の陶芸室で日本工芸会正会員の陶芸作家3名(柴田良三氏、村田真人氏、古野勢児氏)の方に、陶芸部等の生徒に作家独自の技法を直接指導いただきました。高度な技術が必要な轆轤(ろくろ)での大皿の作成の実演と作家独自の染め付け(絵付け)技法の指導を行っていただき、柴田氏は「専門高校の生徒だけに、自分を表現するのが身につけている」と話されていました。

この取組みは、大阪の伝統工芸の技術の伝承の観点から、日本伝統工芸展大阪展実行委員会、府立港南造形高校、府教育委員会文化財保護課が連携して行ったもので、平成22年度第57回日本伝統工芸展大阪展の一環として実施されたものです。



## 軽音楽部が合同ライブを開催



8月29日(日)に、金岡高校、羽曳野懐風館高校、大和川高校の軽音楽部を招き、本校の視聴覚室で合同ライブを開催しました。

当日は厳しい暑さの中でしたが、互いにバンドの演奏を聴き合い、ノリにノって、充実した時間を過ごすことができました。ゲスト校さん、ありがとうございました。

## 中学校教員向け実技研修会で中高の教員が交流



大阪府立港南造形高校では、8月23日に、府内の中学校の美術の先生や美術部の顧問を対象とする実技研修会を開催しました。港南造形高校では、美術・工芸・デザイン系の専門高校とし

て、高い技量をもつ教員が全国一の施設・設備を使って、美術(日本画、洋画、版画、彫刻・立体)、工芸(木工、ガラス、金工、織・染織、陶芸、漆芸)、デザイン(グラフィックデザイン、スペースデザイン、プロダクトデザイン、イラスト)、造形教養(美学・美術史演習等)に関する専門教育を行っています。実技研修会では、この優れた人材と設備を活用し、中学校の美術の先生の指導力向上に役立てていただく機会を提供しました。今年度は、「漆芸(沈金)」「コンピュータを使ったプロフィールカードの制作」「楽しい版画」「LEDキャンドルを使ったランプ」「特殊メイク入門」の5講座を開講し、60名余りの中学校の先生が参加しました。参加者からは「短時間で充実した題材でした。」「分かりやすく丁寧に教えていただきました。」「中学校の題材のヒントにさせていただきます。」等の声が寄せられるなど好評でした。

本研修会は府教委ニュース第101号でも紹介されました。

ホームページアドレス

<http://www.pref.osaka.jp/kyoikusomu/news/news101-4.html>

